令和９年度

山形市立商業高等学校入学者選抜募集要項

山 形 市 立 商 業 高 等 学 校
〒990-2481
山形市あかねヶ丘一丁目９番１号
電話　023(643)4115(代)
https://www.yamagatacity-ch.ed.jp/

Ⅰ　入学者受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)

①将来の進路目標を明確にもち、商業に関する学習に興味・関心のある生徒を募集します。
②自分の個性や能力を生かして、学習やスポーツ・文化活動、生徒会活動などに積極的に取り組もうとする生徒を募集します。
③他者と協働して、地域社会の発展や課題解決に取り組もうとする生徒を募集します。

Ⅱ　設置課程・学科・入学定員

課　程	学　　科	入学定員	計
全　日　制	総　合　ビ　ジ　ネ　ス　科	１６０名	２８０名
	情　　報　　科	４０名	
	経　　済　　科	８０名	

それぞれの教育課程については、後に添える教育課程表を参照のこと。

Ⅲ　前期（特色）選抜

１　志　　願

(1)　志　願　資　格

令和９年３月に中学校、これに準ずる学校若しくは義務教育学校を卒業する見込みの者又は中等教育学校の前期課程を修了する見込みの者のうち、出願要件を満たし、合格した場合は入学が確約できる者。

出願要件

本校のアドミッション・ポリシーを理解し、次の(1)から(3)の全ての要件に該当する者

(1) 探究活動、地域活動に係る要件
商業の専門的な学習に対する強い志望があり、将来への目的意識が明確・適切である者
地域社会への関心をもって学習に取り組む意欲がある者
商業の基本的・基礎的な学びを踏まえて、特に、
・総合ビジネス科は総合的なビジネス教育を通じ、専門的な知識や技能を身につけたい者
・情報科はビジネスの場面に対応することのできるICT技能を身につけたい者
・経済科は高等教育機関の学習につなげられる広い教養を身につけたい者

(2) 成績評定に係る要件
評定合計が２７以上の者

(3) スポーツ活動、文化活動等に係る要件
スポーツ活動や文化活動等において以下のいずれかに該当し、入学後も意欲的に取り組む意志のある者
ア　県大会以上の大会において、入賞や入選の実績をあげた者
イ　地区大会において、３位以上の入賞や入選の実績をあげた者
ウ　ア、イのような実績がなくとも、個人として優れた能力を有する者

⑵ **募 集 区 域**　山形県全域

⑶ **募 集 人 員**

各学科の入学定員に対し、総合ビジネス科25%程度、情報科10%程度、経済科10%程度とする。

⑷ **志 願 制 限**

① 志願は、１人１学科とする。

② 前期（特色）選抜と中高一貫教育における連携型入学者選抜との併願はできないものとする。

⑸ **進 路 等 相 談**

中学校、これに準ずる学校、義務教育学校及び中等教育学校の長（以下「中学校長等」という。）は、入学者選抜に当たって特別な配慮等、必要がある場合は、令和８年12月14日(月)17時までに、本校校長に健康及び身体の状況、希望学科、進路希望等について相談を行うことができる。

⑹ **出　　願**

① 出願に必要な手続

ア 山形県公立学校Ｗｅｂ出願システムにより出願情報の登録を行い、入学者選抜手数料として、2,200円を納付する。

イ 中学校長等は、山形県公立学校Ｗｅｂ出願システムにより、調査書情報を登録するとともに、評定概況を添付ファイルとして提出する。ただし、評定概況については、県外からの志願者及び特別支援学校からの志願者については登録を要しない。

② 個別に必要な書類

ア 自己申告書

進路等相談を踏まえ、本校校長が、その提出を認めた場合には、志願者等が作成した自己申告書を本校校長あて親展で提出することができる。郵送の場合は簡易書留郵便とし、持参の場合も含めて、出願受付期間内に必着とする。

イ 学区外高等学校志願許可書

県外からの志願者は、県教育委員会に「学区外高等学校志願許可願」を提出して許可を得る。「学区外高等学校志願許可書」については、志願者において保管とする。

③ 出願受付期間

令和９年１月４日(月)から１月７日(木)12時までに手続きするものとする。

④ 受検票

受検票は、令和９年１月13日(水)から１月27日(水)までに山形県公立学校Ｗｅｂ出願システムから取得し、Ａ４判用紙に印刷すること。

２ 検　　査

⑴ **期　　日**　令和９年２月２日(火)

⑵ **集合時刻**　８時50分までに各控室に入室を完了する。受検者の入口は本校昇降口（正面玄関に向かって右側）とする。入口の開場は８時20分とする。
面接時間等は、山形県公立学校Ｗｅｂ出願システムの「マイページ」で確認すること。

⑶ **検査会場**　本校

⑷ **携 帯 品**　受検票、内履き、下足入れ袋

⑸ **検査内容**　個人面接（６分）

⑹ **評価の観点**　① 目的意識　② 自己理解・向上心　③ コミュニケーション能力

３ 選　　抜

⑴ 選抜は、調査書情報及び個人面接の結果を総合して行う。

⑵ 選抜規準は次の通りとする。
調査書情報（学習の記録）20%、調査書情報（「学習の記録」以外）40%、個人面接40%

⑶ 本校校長は、令和９年２月10日(水)16時に山形県公立学校Ｗｅｂ出願システムにより前期（特色）選抜結果を通知するものとする。ただし、合格者の発表は、令和９年３月17日(水)に行う。

4　後期（一般）選抜への志願

⑴　前期（特色）選抜の合格内定者は、改めて他の高等学校に出願することはできない。前期（特色）選抜に漏れた者で、後期（一般）選抜を志願する者は、山形県公立学校Ｗｅｂ出願システムで新たに後期（一般）選抜の出願情報の登録が必要になる。

ただし、私立高等学校への志願変更あるいは、以降志願を行わない場合は、手続きを要しない。

⑵　入学者選抜手数料の納付については、市立高等学校と県立高等学校間の場合、改めて納付する。ただし、先に納付した分については還付を行わない。

Ⅳ　後期（一般）選抜

1　志　　願

⑴　志　願　資　格

次の各号の一に該当する者とする。

①　令和９年３月に中学校、これに準ずる学校若しくは義務教育学校を卒業見込みの者又は中等教育学校の前期課程を修了する見込みの者で、令和９年度前期（特色）選抜及び中高一貫教育における連携型入学者選抜において合格内定していない者

②　中学校、これに準ずる学校若しくは義務教育学校を卒業した者又は中等教育学校の前期課程を修了した者

③　学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 95 条の各号のいずれかに該当する者

⑵　募　集　区　域　　山形県全域

⑶　志　願　制　限

公立高等学校への志願は、１人１校とする。山形県公立学校Ｗｅｂ出願システムにより第１志望学科等、第２志望学科等、第３志望学科等に志願する学科等を選択する。なお、第２志望または第３志望がない場合は、「選択しない」を選択すること。

⑷　進　路　等　相　談

中学校長等は、入学者選抜に当たって特別な配慮等、必要がある場合は、令和９年１月 29 日(金)17 時までに本校校長に、健康及び身体の状況、希望学科、進路希望等について相談を行うことができる。

⑸　出　　願

①　出願に必要な手続

ア　山形県公立学校Ｗｅｂ出願システムにより出願情報の登録を行い、入学者選抜手数料として、2,200 円を納付する。

イ　中学校長は、山形県公立学校Ｗｅｂ出願システムにより、調査書情報を登録するとともに、評定概況を添付ファイルとして提出する。ただし、評定概況については、県外からの志願者、特別支援学校からの志願者及び令和７年度以前の卒業者からの志願者については登録を要しない。

②　個別に必要な書類

ア　自己申告書

進路等相談を踏まえ、本校校長が認めた場合には、志願者等が作成した自己申告書を本校校長あて親展で提出することができる。郵送の場合は簡易書留郵便とし、持参の場合も含めて、出願受付期間内に必着とする。

イ　学区外高等学校志願許可書

県外からの志願者は、県教育委員会に「学区外高等学校志願許可願」を提出して許可を得る。「学区外高等学校志願許可書」については、志願者において保管とする。

ウ　在籍高等学校長の志願承諾書

高等学校に在籍のまま志願する場合は、出願の際に山形県公立学校Ｗｅｂ出願システムにより添付ファイルとして提出すること。

③　出願受付期間

令和９年２月 17 日(水)から２月 22 日(月)12 時までに手続きするものとする。

④　受検票

受検票は、令和９年２月 26 日(金)から３月７日(日)までに山形県公立学校Ｗｅｂ出願システムから取得し、Ａ４判用紙に印刷すること。

⑤ 出願に関する留意点

ア　志願の取消しや締切り前の志願変更の対象者が確認された場合は、出身中学校長が本校校長へ電話連絡する。その後、山形県公立学校Ｗｅｂ出願システムにおいて必ず公文書を添付ファイルとして提出するとともに、取消しや志願先の変更を行うこと。

イ　前期（特色）選抜の志願にかかわって、本校に調査書情報、評定概況及び学区外志願に係る書類等が登録済の場合は、改めて登録を要しない。

２　学　力　検　査

⑴　検　査　教　科　　国語、社会、数学、理科、外国語（英語）の５教科とする。

⑵　検　査　日　時　　令和９年３月７日(日)

時　　間	教　科　等
８：５０～　９：４０	国　　語
１０：００～１０：５０	数　　学
１１：１０～１２：００	社　　会
１２：５０～１３：４０	理　　科
１４：００～１４：５０ 14:00 から約 10 分間は リスニングテスト	外　国　語 （英　語）

⑶　検　査　会　場　　本校

⑷　検査教科の配点　　国語、社会、数学、理科、外国語（英語）　各 100 点

⑸　受検者の携帯品

① 受検票のほか、次の筆記用具を持参するものとし、これ以外の使用は認めない。

鉛筆(シャープペンシルを含む)、消しゴム、定規(三角・直定規のいずれでもよい)
コンパス、鉛筆削り

芯の濃さは２Ｂ、Ｂ、ＨＢとし、シャープペンシルの芯の太さは 0.5㎜ 以上とする。

② 下敷の使用は認めない。

③ 分度器又は分度器のついた定規、公式や法則等の書いてある筆記用具、計算機能や英単語表示機能、辞書機能、通信機能等の付いた腕時計等の電子機器類、その他、検査の公正を欠くおそれのある物を持参してはならない。

④ 連絡手段として持参したスマートフォン、タブレット等については、校内では電源を切るものとし使用してはならない。

⑤ 内履き、下足入れ袋、昼食を持参する。

⑹　受検上の注意

① ８時 30 分までに各検査室に入室を完了する。

② 受検者の入口は本校昇降口（正面玄関に向かって右側）とする。当日、検査室への入室方法等を掲示し、案内する。入口の開場は８時とする。

３　選　　抜

⑴　選抜の方法

選抜は、調査書情報及び学力検査の成績等に基づき、学校、学科等の特色に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能力・適性等を判定して行う。

① 選抜は、学力の総合段階及び調査書情報中の記載事項を主な資料として行う。

② 調査書情報中の第３学年の各教科の評定合計と学力検査の成績の比率は**３：７**とする。

⑵　国立諸学校に合格した志願者の取扱い

在籍又は出身中学校長から、国立諸学校に合格し入学する旨報告のあった志願者については選抜から除外する。

なお、在籍又は出身中学校長は、令和９年３月３日(水)12 時までに、国立諸学校への入学の諾否等を本校校長に対して、山形県公立学校Ｗｅｂ出願システムにより報告するものとする。その後判明した場合も、できるだけ速やかに電話連絡すること。

４　合　格　発　表

合格者の発表は、令和９年３月 17 日(水)16 時に山形県公立学校Ｗｅｂ出願システムにより行う。

合格者には、入学に向けての書類を送付する。なお、山形県公立学校Ｗｅｂ出願システムの「マイページ」でも確認すること。

５　個人情報の提供

受検者の個人情報（学力検査の教科別得点）の提供は、山形県公立学校Ｗｅｂ出願システムにより行う。

個人情報（学力検査の教科別得点）の提供希望者は、出願の手続きをする際に、個人情報の提供を「希望する」と選択すること。

６　追　検　査

⑴ 対　象　者

志願者のうち、次の①～②のいずれかに該当し、３月７日実施の学力検査（以降、本検査という）の受検ができず、追検査の受検を希望する者。ただし、本検査を一部でも受検した者は、原則として追検査の対象とはならない。

① インフルエンザ等の感染症に罹患するなどし、本検査を受検できない者

② 真にやむを得ない理由により、本検査を受検できない者

⑵ 受検の手続き

① 追検査の受検を希望する者は、本検査が受検できないと判明したら、速やかに在籍又は出身中学校長に連絡し、上記(1)①の場合は医師の診断書を、上記(1)②の場合は本検査を受検できない理由を証明する書類を、在籍又は出身中学校長が定める期日まで在籍又は出身中学校長に提出する。

② 追検査の受検を希望する者の在籍又は出身中学校長は、次のア～エの連絡等の手続きを行う。

ア　３月６日（土）までに、追検査の対象者が確認された場合、対象者の中学校名・受検番号・氏名を、３月６日（土）15 時までに本校校長へ電話連絡する。

イ　ア以降、３月７日（日）本検査当日の集合時刻までに、本検査を受検できない志願者が新たに確認された場合、対象者の中学校名・受検番号・氏名を、当日できるだけ速やかに本校校長へ電話連絡する。

ウ　ア、イに該当する生徒がいる場合、３月 10 日（水）15 時までに、追検査受検願及び医師の診断書又は本検査を受検できない理由を証明する書類を、山形県公立学校Ｗｅｂ出願システムにより添付ファイルとして提出する。なお、やむを得ない事情により期限までに提出できない場合は、提出期限まで本校校長に電話等で連絡した上で、速やかに提出する。

エ　対象者について受検に当たり新たに特別な配慮が必要になった場合は、速やかにその旨を本校校長に連絡する。

③ 本校校長は、次のア～イの連絡等を行う。

ア　３月 11 日（木）までに、追検査の受検を許可する旨を、中学校長を通して志願者に連絡する。本校校長から中学校長への連絡は電話連絡とする。

イ　追検査受検願及び医師の診断書又は本検査を受検できない理由を証明する書類の内容について疑義が生じた場合は、３月 11 日（木）12 時までに中学校長あて照会する。

⑶ 追検査の内容及び日時等

① 学力検査について　　内容は「２ 学力検査」に準ずる。

② 検査日時　　令和９年３月 12 日（金）　　時間は本検査に同じ

③ 検査会場　　本校

⑷ 追検査の選抜における取扱い

追検査の結果と本検査の結果は同等に扱う。

Ⅴ　本 校 の 概 要

１　位　　置　山形市あかねヶ丘一丁目９番１号　山形駅から西方へ徒歩で約 25 分。

２　沿　　革

大正７年市立山形商業学校として創立、昭和 26 年旧市立山形女子商業高等学校と統合し山形市立商業高等学校として現在にいたる。令和４年度より、学科改編並びに新校舎供用開始。

３　校　　訓

「輸誠（ゆせい）」（誠をいたす）

言うことと行いに偽りがないこと。自己を偽らず、他を偽ることなく、真心をもって物事をなす。

４　スクール・ミッション

校訓「輸誠」のもと、県内商業教育の中核校として、実践的・協働的で質の高い教育活動を行うことを通してビジネスパーソンとして必要な知識や技術を身につけ、持続可能な社会や地域産業の発展をめざして貢献する人を育成します。

５　スクール・ポリシー

⑴ グラデュエーション・ポリシー（育成をめざす資質・能力に関する方針）

①確かな学力、豊かな心、健やかな体をもち、自立した人間として活躍できる力を育成します。

②社会人基礎力や職業人としての心構えをもち、ビジネスの専門性を発揮して、地域社会の発展に貢献し、地域の創り手として活躍する力を育成します。

③進取の精神をもって時代の変化に柔軟に対応し、高い志をもって挑戦しようとする力を育成します。

⑵ カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

①多様な興味・関心や進路希望に対応した選択科目群を設置し、ビジネスのスペシャリストの育成をめざして、実践的・協働的な学習を行います。

②ＩＣＴの効果的な活用や探究的な学びを通して、個別に最適な学びを実現します。

③地域社会と連携して、充実した教育活動を行います。

Ⅵ　入学に関わる参考事項

１　合格者オリエンテーション

⑴ **日　　時**　令和９年３月 25 日(木)　午後

⑵ **場　　所**　本校第１体育館

⑶ **そ の 他**　詳細については合格者へ通知する。

２　入学式

⑴ **日　　時**　令和９年４月８日(木)　午後（予定）

⑵ **場　　所**　本校第１体育館

３　所要経費（令和８年度入学者実績）

⑴ 入学料　5,650 円（山形市へ納入）

⑵ 授業料　118,800 円（年額）

※就学支援金の申請を行い、認定を受けた生徒は、原則、授業料の納付が不要となります。

⑶ 入学時諸経費（生徒会入会金、ＰＴＡ入会金、教育後援会協力費、高体連及び高文連負担金、教材、その他）

○総合ビジネス科 94,183 円　○情報科 98,420 円　○経済科 92,393 円

⑷ 教科書代

○総合ビジネス科 33,721 円　○情報科 34,381 円　○経済科 40,984 円

⑸ 制服(冬用・夏用)代

○男子　52,200 円　○女子　65,900 円

(6) 徴収金

①諸会費・団体徴収金（毎月）

○全学科共通 3,670 円

内訳【PTA 会費(650 円)、生徒会費(1,500 円)、輸誠文庫費(120 円)、
教育後援会費(1,300 円)、進路指導費（100 円)】

②積立金等（１年次４月～３年次９月までの 30 か月）

○全学科共通 10,000 円（月額）

内訳【修学旅行積立金、１人１台パソコン購入代金、卒業積立金】

※入学者全員に本校指定タブレット型パソコンを購入していただきます。

(7) 一括集金【PTA 総会（4 月末頃）後に集金、検定料金・模擬試験料等】

○総合ビジネス科 13,700 円　○情報科 15,500 円　○経済科 25,200 円

Ⅶ そ　の　他

以上のほか、実施上必要な事項は「令和９年度山形県公立高等学校入学者選抜実施要項」及び「令和９年度山形市立商業高等学校入学者選抜実施要項」による。

令和９年度入学者　教育課程表(1)

課程	全日制	学科	総合ビジネス科	校長	猪又義則

教科	科目	標準単位数		年次別単位数 1年次	2年次	3年次	計	備考
	（必履修科目◎、選択必履修科目○、学校設定科目●）							
国語	現代の国語	2	◎	2			2	
	言語文化	2	◎	2			2	芸術
	論理国語	4			2	3	5	それぞれ○から1科目選択して履修
	文学国語	4			□3	▼4	0･3･4	
	古典探究	4			□3	▼4	0･3･4	
地理歴史	地理総合	2	◎	2			2	2年次
	地理探究	3				▼4	0･4	□から1科目（選択A）選択して履修
	歴史総合	2	◎		2		2	
	日本史探究	3				▼4	0･4	3年次
公民	公共	2	◎		2		2	▼から1科目（選択B）、
	政治・経済	2				2	2	■から1科目（選択C）、
数学	数学Ⅰ	3	◎	3			3	◇から1科目（選択D）選択して履修
	数学Ⅱ	4				▼4	0･4	
	数学A	2			2		2	※選択Aで「文学国語」「古典探究」
理科	科学と人間生活	2	◎		2		2	「論理・表現Ⅱ」「ビジネス英語Ⅰ」
	生物基礎	2				■3	0･3	「マーケティング」「ﾋﾞｼﾞﾈｽ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ」
	地学基礎	2	◎			2	2	「ソフトウェア活用」「文書処理技術」
保健体育	体育	7～8	◎	2	2	3	7	を選択履修した者は、選択B、Cで
	保健	2	◎	1	1		2	同一科目を選択履修できない。
芸術	音楽Ⅰ	2	○			2	0･2	
	美術Ⅰ	2	○			2	0･2	
	書道Ⅰ	2	○			2	0･2	
外国語	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ	3	◎	3			3	※選択A「論理・表現Ⅱ」を選択履修して
	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ	4			3	3	6	いない者は、選択C「論理・表現Ⅲ」
	論理・表現Ⅰ	2		2			2	を選択履修できない。
	論理・表現Ⅱ	2			□3	■3	0･3	
	論理・表現Ⅲ	2				■3	0･3	※選択A「ビジネス英語Ⅰ」を選択履修して
	ビジネス英語Ⅰ	－	●		□3	▼4	0･3･4	いない者は、選択C「ビジネス英語Ⅱ」
	ビジネス英語Ⅱ	－	●			■3	0･3	を選択履修できない。
家庭	家庭基礎	2	◎		2		2	
情報	情報Ⅰ	2	◎	(4)			(4)	情報
共通教科・科目単位数合計				17	18～21	19～22	54～60	「情報Ⅰ」は専門教科商業
商業	ビジネス基礎	2～4		2			2	「情報処理」で代替（1年次4単位）
	課題研究	2～4	◎			3	3	
	総合実践	2～4				2	2	総合的な探究の時間
	マーケティング	2～4			□3	■3	0･3	「総合的な探究の時間」は専門
	商品開発と流通	2～4				◇2	0･2	教科商業「課題研究」で代替
	観光ビジネス	2～4				◇2	0･2	（3年次3単位）
	ビジネス・マネジメント	2～4			□3	■3	0･3	
	グローバル経済	2～4				◇2	0･2	1年次
	ビジネス法規	2～4				◇2	0･2	「簿記」を履修した後に
	簿記	2～6		4			4	「財務会計Ⅰ」を履修する
	財務会計Ⅰ	2～4		2	2		4	2年次
	財務会計Ⅱ	2～4			3	■3	3･6	「財務会計Ⅰ」を履修した後に
	原価計算	2～4			3		3	「財務会計Ⅱ」を履修する
	管理会計	2～4				◇2	0･2	
	情報処理	2～6	◎	4			4	
	ソフトウェア活用	2～4			□3	■3	0･3	
	文書処理技術	－	●		□3	■3	0･3	
	プレゼンテーション	－	●			◇2	0･2	
家庭	フードデザイン	2～6				■3	0･3	
専門教科・科目単位数合計				12	8～11	7～10	27～33	
総合的な探究の時間		3～6	◎			(3)	(3)	
合計				29	29	29	87	
卒業までに修得すべき単位数				74				
特別活動	ホームルーム活動			1	1	1	3	毎週月曜日6校時
	生徒会活動（時間）			25	23	23	71	
				対面式、新入生歓迎会、部紹介、生徒総会（前期・後期）、議案書審議、校歌応援歌練習、壮行式 山商祭、立会演説会　等				
	学校行事（時間）			46	70	41	157	
				新任式、入学式、始業式・終業式（1･2･3学期）、身体測定、クラスマッチ、ブックトーク 避難訓練、校内駅伝大会、創立記念式、修学旅行、卒業式、離任式　等				
授業の1単位時間				50分				

学校設定科目　「プレゼンテーション」平成25年度開設
「ビジネス英語Ⅰ」令和5年度開設・「ビジネス英語Ⅱ」令和6年度開設
「文書処理技術」令和5年度開設

令和９年度入学者　教育課程表(2)

課程	全日制	学科	情報科	校長	猪又義則

教科	科目	標準単位数		年次別単位数				備考
（必履修科目◎、選択必履修科目○、学校設定科目●）				1年次	2年次	3年次	計	
国語	現代の国語	2	◎	2			2	
	言語文化	2	◎	2			2	芸術
	論理国語	4			2	3	5	それぞれ○から1科目選択して履修
	文学国語	4				▼4	0･4	
	古典探究	4				▼4	0･4	
地理歴史	地理総合	2	◎	2			2	
	地理探究	3				▼4	0･4	3年次
	歴史総合	2	◎		2		2	▼から1科目（選択B）、
	日本史探究	3				▼4	0･4	■から1科目（選択C）、
公民	公共	2	◎		2		2	◇から1科目（選択D）選択して履修
	政治・経済	2				■3	0･3	
数学	数学Ⅰ	3	◎	3			3	
	数学Ⅱ	4				▼4	0･4	
	数学A	2			2		2	
理科	科学と人間生活	2	◎		2		2	
	生物基礎	2				■3	0･3	
	地学基礎	2	◎			2	2	
保健体育	体育	7～8	◎	2	2	3	7	
	保健	2	◎	1	1		2	
芸術	音楽Ⅰ	2	○			2	0･2	
	美術Ⅰ	2	○			2	0･2	
	書道Ⅰ	2	○			2	0･2	
外国語	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ	3	◎	3			3	
	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ	4			3	3	6	
	論理・表現Ⅰ	2		2			2	
	論理・表現Ⅱ	2				■3	0･3	
	ビジネス英語Ⅰ	―	●			▼4	0･4	
家庭	家庭基礎	2	◎		2		2	
情報	情報Ⅰ	2	◎	(3)			(3)	
共通教科・科目単位数合計				17	18	17～20	52～55	
商業	ビジネス基礎	2～4		2			2	情報
	課題研究	2～4	◎			3	3	「情報Ⅰ」は専門教科商業
	マーケティング	2～4				■3	0･3	「情報処理」で代替（1年次3単位）
	商品開発と流通	2～4				◇2	0･2	
	観光ビジネス	2～4				◇2	0･2	
	ビジネス･マネジメント	2～4				■3	0･3	総合的な探究の時間
	グローバル経済	2～4				◇2	0･2	「総合的な探究の時間」は専門
	ビジネス法規	2～4				◇2	0･2	教科商業「課題研究」で代替
	簿記	2～6		4			4	（3年次3単位）
	財務会計Ⅰ	2～4			3		3	
	財務会計Ⅱ	2～4				■3	0･3	
	原価計算	2～4			3		3	
	情報処理	2～6	◎	3			3	
	ソフトウェア活用	2～4			3		3	
	プログラミング	2～4		3	2		5	
	ネットワーク活用	2～4				4	4	
	文書処理技術	―	●			■3	0･3	
	プレゼンテーション	―	●			◇2	0･2	
家庭	フードデザイン	2～6				■3	0･3	
専門教科・科目単位数合計				12	11	9～12	32～35	
総合的な探究の時間		3～6	◎			(3)	(3)	
合計				29	29	29	87	
卒業までに修得すべき単位数				74				
特別活動	ホームルーム活動			1	1	1	3	毎週月曜日6校時
	生徒会活動（時間）			25	23	23	71	
				対面式、新入生歓迎会、部紹介、生徒総会（前期･後期）、議案書審議、校歌応援歌練習、壮行式				
				山商祭、立会演説会　等				
	学校行事（時間）			46	70	41	157	
				新任式、入学式、始業式･終業式（1･2･3学期）、身体測定、クラスマッチ、ブックトーク				
				避難訓練、校内駅伝大会、創立記念式、修学旅行、卒業式、離任式　等				
授業の1単位時間				50分				

学校設定科目　「プレゼンテーション」平成25年度開設
「ビジネス英語Ⅰ」令和5年度開設
「文書処理技術」令和5年度開設

令和９年度入学者　教育課程表(3)

課程	全日制	学科	経済科	校長	猪又義則

教科	科目	標準単位数		年次別単位数				備考
（必履修科目◎、選択必履修科目○、学校設定科目●）				1年次	2年次	3年次	計	
国語	現代の国語	2	◎	2			2	
	言語文化	2	◎	3			3	理科・芸術
	論理国語	4			2	3	5	それぞれ○から1科目選択して履修
	古典探究	4			2	2	4	
地理歴史	地理総合	2	◎	2			2	
	歴史総合	2	◎	2			2	
公民	公共	2	◎		2		2	3年次
	政治・経済	2				3	3	◇から1科目（選択D）選択して履修
数学	数学Ⅰ	3	◎	3			3	
	数学Ⅱ	4			2	2	4	
理科	科学と人間生活	2	◎		2		2	
	生物基礎	2	○			3	0・3	
	地学基礎	2	○			3	0・3	
保健体育	体育	7～8	◎	2	2	3	7	
	保健	2	◎	1	1		2	
芸術	音楽Ⅰ	2	○			2	0・2	
	美術Ⅰ	2	○			2	0・2	
	書道Ⅰ	2	○			2	0・2	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	◎	3			3	
	英語コミュニケーションⅡ	4			4		4	
	英語コミュニケーションⅢ	4				4	4	
	論理・表現Ⅰ	2		2			2	
	論理・表現Ⅱ	2			2		2	
	論理・表現Ⅲ	2				2	2	
家庭	家庭基礎	2	◎		2		2	情報
情報	情報Ⅰ	2	◎	(2)			(2)	「情報Ⅰ」は専門教科商業
共通教科・科目単位数合計				20	21	24	65	「情報処理」で代替（1年次2単位）
商業	ビジネス基礎	2～4		2			2	
	課題研究	2～4	◎			3	3	
	商品開発と流通	2～4				◇2	0・2	総合的な探究の時間
	観光ビジネス	2～4				◇2	0・2	「総合的な探究の時間」は専門
	グローバル経済	2～4				◇2	0・2	教科商業「課題研究」で代替
	ビジネス法規	2～4				◇2	0・2	（3年次3単位）
	簿記	2～6		3			3	
	財務会計Ⅰ	2～4		2	2		4	1年次
	財務会計Ⅱ	2～4			3	◇2	3・5	「簿記」を履修した後に
	原価計算	2～4			3		3	「財務会計Ⅰ」を履修する
	管理会計	2～4				◇2	0・2	2年次
	情報処理	2～6	◎	2			2	「財務会計Ⅰ」を履修した後に
	ソフトウェア活用	2～4				◇2	0・2	「財務会計Ⅱ」を履修する
	プレゼンテーション	―	●			◇2	0・2	
専門教科・科目単位数合計				9	8	5	22	
総合的な探究の時間		3～6	◎			(3)	(3)	
合計				29	29	29	87	
卒業までに修得すべき単位数				74				
特別活動	ホームルーム活動			1	1	1	3	毎週月曜日6校時
	生徒会活動（時間）			25	23	23	71	
				対面式、新入生歓迎会、部紹介、生徒総会（前期・後期）、議案書審議、校歌応援歌練習、壮行式 山商祭、立会演説会　等				
	学校行事（時間）			46	70	41	157	
				新任式、入学式、始業式・終業式（1・2・3学期）、身体測定、クラスマッチ、ブックトーク 避難訓練、校内駅伝大会、創立記念式、修学旅行、卒業式、離任式　等				
授業の1単位時間				50分				

学校設定科目　　「プレゼンテーション」平成25年度開設